記者発表資料

平成３０年８月３日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

みんな集まれ！和賀川には夏休みの自由研究素材がいっぱい

～再生したレキ河原・湿地環境で子供達と昆虫・魚類の自然観察会を開催～

岩手河川国道事務所では、平成１９年度から北上市内の北上川と和賀川合流点付近で自然再生事業（レキ河原や湿地環境の再生事業）に取り組んでいます。

この自然再生事業に合わせ自然環境の継続的な変化を把握する為のモニタリング調査を平成２１年度から実施しています。

地域の子供達を対象に、河川に生息する生物を広く知っていただくため、日本野鳥の会北上支部の協力を得て、下記のとおり生物調査を兼ねた昆虫、魚類等の自然観察会を行います。

１） 参加者
　鬼柳地区周辺の子供達約２０名程度

２） 実施日時
　平成３０年８月８日（水） ９時００分～１１時３０分（和賀川合流点）

３） 実施場所
　北上川右支川和賀川合流点付近（別添地図を参照）

４） 集合場所
　鬼柳地区交流センター ８時３０分集合
※雨天及び河川の水位が高い場合は、鬼柳地区交流センター内での勉強会となります。

和賀川自然再生事業とは

北上川・和賀川合流点の河原は昭和３０年代まではレキ河原や湿地環境が広がっていました。近年は、レキ河原が消失し、陸地化した場所に外来種である「ハリエンジュ」が繁茂し、著しく樹林化が進んでいます。このことにより、河川環境の多様性が失われ、レキ河原や湿地環境を生息場所としている鳥類、昆虫等や在来植物が減少しています。この事業では土砂掘削や、外来種の伐採により、かつてのレキ河原や湿地環境を再生し、多様な自然環境の保全、創出を行うものです。

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ、北上記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞

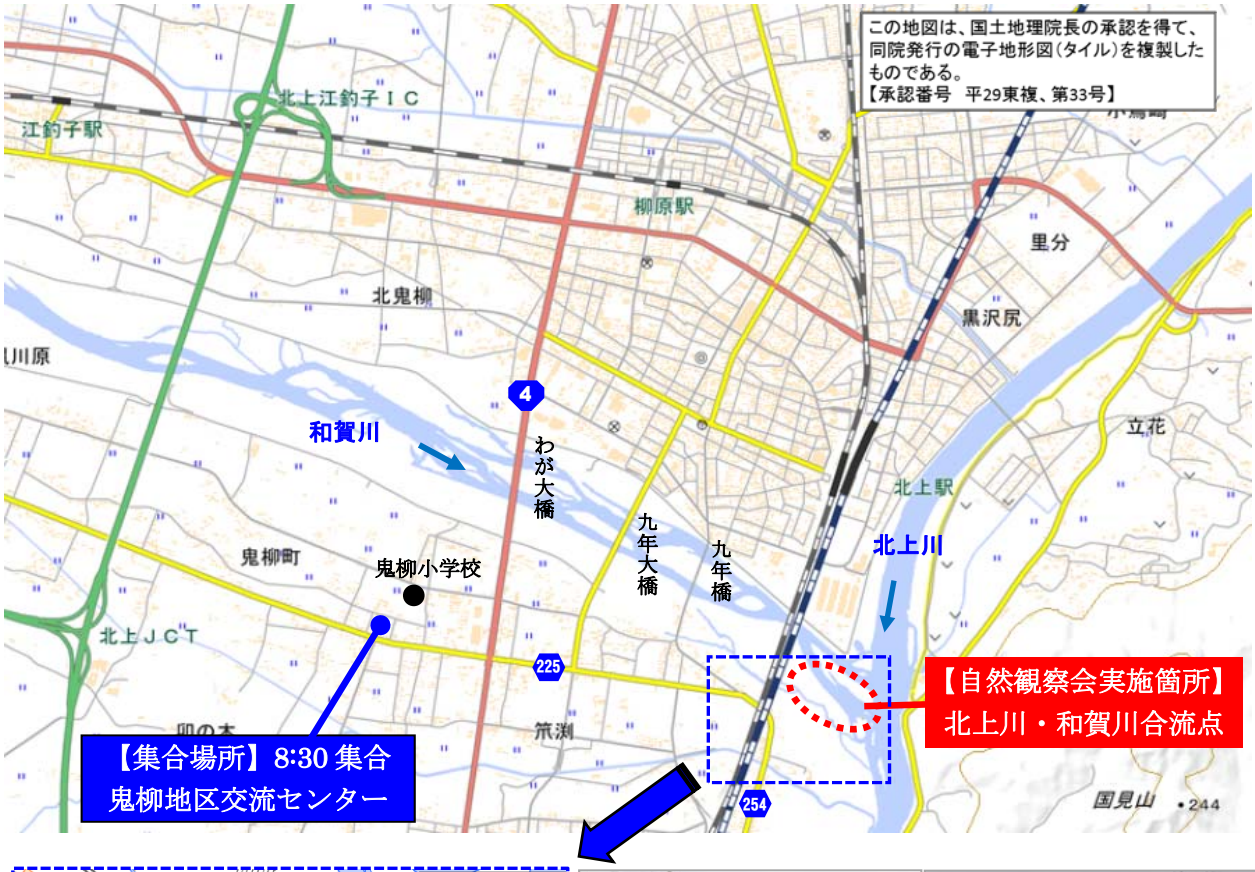
国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
〒020-0066 岩手県盛岡市上田四丁目2-2

副所長（河川） 堀井（ほりい） 一保（かずやす）

工務第一課長 大平（おおだいら） 知秀（ともひで）

代表℡ 019-624-3131
工務第一課直通℡ 019-624-3198

位置図






①進入口の状況
（南進方向をのぞむ）


②進入口の状況
（北進方向をのぞむ）

≪開催案内≫

（和賀川）自然観察会

日時：平成 30 年 8 月 8 日（水）

9 時 00 分～11 時 30 分

場所：北上川・和賀川合流点付近

和賀川合流点自然観察会実施箇所



和賀川にすむ生き物観察会

～ どんな生き物がすんでいるか観察してみよう ～

夏休みを利用して、地域の子供たちと一緒に、和賀川にすんでいる生き物の観察会を行います。観察会では、和賀川の水辺にすんでいる昆虫や魚などを捕まえて観察します。川の役割や、災害を減らすための様々な取組みと自然環境との調和、問題点について学びましょう。

和賀川の水辺で確認されている昆虫類

自由研究にもつかえるよ！



コムラサキ（よく見られる虫）

河川敷の林や草地で見られるよ。樹液を吸いに木に集まったりするよ。



アカガネオサムシ（めずらしい虫）

石ころが転がる河川敷と河川敷の林のある場所で見つけられるかも。

和賀川・古川で確認されている主な魚など（H29確認種）



アユ



ギバチ



アブラハヤ



アメリカザリガニ（外来種）

○調査日と時間

平成３０年８月８日（水）９:００～１１:３０

○集合場所と時間

鬼柳地区交流センターに８:３０集合

【主　催】国土交通省　岩手河川国道事務所
【協　力】公益財団法人　日本野鳥の会　北上支部
　　鬼柳地区交流センター
【問合せ先・連絡先】
　　鬼柳地区交流センター　TEL:0197－67－4310

○準備するもの

魚取り網、虫取り網、虫かご（持っている人だけで結構です）、筆記用具、水筒（飲み物）、タオル、帽子、動きやすい服装、雨具、運動靴またはスポーツサンダル（川に入りますので濡れても良い格好でお願いします。）





○雨天・水位が高い場合

当日、雨天もしくは水位が高い場合には、鬼柳地区交流センターの屋内にて、和賀川にすんでいる生き物の観察や勉強会を行います。その際の集合場所と時間は上記同様とします。

（平成２９年度自然観察会の実施状況）



集合の様子



昆虫採集状況



魚類の捕獲



捕獲した魚類を水槽に移して観察



採取した生き物の記録